

# 平成29年3月：第402回 大野市議会定例会

代表質問 3月6日（月） 午前

質問者	質問方式	質問概要
兼井（天空おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 小中学校再編計画について</b></p> <p>○ 学校再編計画（案）、学校再編計画に対して見直しを求める市長への3,000人が署名した意見書ほか、12月議会には陳情書3件、3月議会には請願書2件、陳情書5件が提出されている。</p> <p>子どもたちにより良い教育環境で学ばせるため、円滑な学校再編を進めるためにも、「大野市小中学校再編計画」を各学校区住民の同意と理解を得た再編計画に策定し直すべきではないか。</p>
		<p><b>2 日本版DMOの設置に向けた検討について</b></p> <p>○ 市長の提案理由に、昨年の観光入り込み客数が212万9,800人と過去最高を記録し、この流れを継続させ経済的なメリットにつなげるために、日本版DMOの設置に向けた検討を行うとあるが、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役であり、また多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定する、日本版DMOの最も大切な明確なコンセプトについて、どのように考えているのか。</p> <p>「どんな人が」「どこから」「何を求めて」「どうやって」訪れているのか、データの収集分析が不十分なため、ターゲットとすべき顧客層や地域のコンセプトが十分に練られておらず、大きく変化している旅行者マーケットに十分に対応できず、明確なコンセプトを設けられない結果、観光振興の取り組みに対する地域住民の理解が得られず、観光振興により地域住民の誇りと愛着を醸成するまでに至らない状況の改善が重要ではないか。</p>
		<p><b>3 株式会社電通との相互連携協定について</b></p> <p>○ 平成26年9月に株式会社電通と本市との間で、人口減少対策に関する調査研究や事業実施に向けた相互連携協定を締結し、市長を座長とした「結の故郷創生会議」を設置し、進めてこられた取り組みの今後について、どのように考えているのか。</p>
		<p><b>4 若い世代の定住促進について</b></p> <p>○ これまでの企業誘致による経済効果・税収・地元雇用者数の推移と、新たにIT企業の誘致も進めるとのことだが、まちづくり・地域経済の活性化と今後誘致する企業との連携についてどう考えるか。</p> <p>○ 「大野へかえろう」プロジェクトがターゲットにしている世代が求める雇用と、今後取り組む企業誘致によって確保する雇用について、どのように考えているのか。</p> <p>若い方々が将来、大野市に住み続ける場合に、何が重要だと考えているのか。</p> <p>○ 整備を計画している都市部のベンチャー企業にとって、真に魅力的なサテライトオフィスとは、どのような活用を考えているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
兼井(天空おおの)	一括質問・答弁方式	<p><b>5 「水への恩返しキャリングウォータープロジェクト」について</b></p> <p>○ これまでの取り組みに対する手ごたえを感じているとのことだが、平成 29 年度新たに「水の聖地」として全国・全世界で認められることを目指すことが、人口減少対策として、どのような成果、数値目標につながるのか。</p>
		<p><b>6 重点道の駅「(仮称) 結の故郷」について</b></p> <p>○ これまで計画協議会と三つのワーキンググループ(地域振興・道路管理・防災)の 85 人の方々と、施設の配置計画等について検討し、その素案を基にパブリックコメントを実施し、市民からのご意見を反映させた基本計画が策定され、全国で類のない魅力ある道の駅として整備が進められてきたが、現在の基本設計の見直しの理由と基本計画の変更点等について、お聞かせ願いたい。</p> <p>○ その見直しにより、道の駅の 1 日当たり営業時間内訪問台数約 750 台、年間予想来場者数は約 80 万人、客単価 620 円、道の駅での売上げ 5 億円以上、道の駅から市内への回遊した利用者全体の年間の予想売上高は約 7 億円、約 80 人の雇用等について、変更はないのか。</p>
		<p><b>7 文化会館の整備について</b></p> <p>○ 新しい文化会館の五つの基本方針の「①舞台利用者が使いやすい施設」「②観客が鑑賞しやすい施設」「③質の高い文化芸術に触れ、育てることができる施設」は当然のことだが、基本方針「④誰もが気軽に集うことができる施設」については、どのような工夫を考えているのか。</p> <p>人口減少対策として、市内はもちろん、市外の子育て世代の親子も気軽に訪れたいような文化施設にすることで、基本方針「⑤結の故郷越前おおのの魅力を発信する施設」が定住促進につながる施設になると考えるが。</p> <p>○ 宝くじふるさとワクワク劇場(3部構成:お笑いオンステージ、トーク、コメディ劇場)、宝くじまちの音楽会(3演目から選択:南こうせつ、岩崎宏美、岡村孝子)、宝くじおしゃべり音楽館(芸能人によるポップスオーケストラ+地元合唱団との共演)や、プロの歌手などの文化公演、NHKののど自慢等の誘致条件が、収容人数 800 人以上のために、大ホールの座席数については 1,000 席程度となっているが、市民と文化活動団体へのアンケート結果には、文化会館の良い点として「客席数がちょうど良い」「舞台の広さがちょうど良い」が挙げられ、現在の座席数を不便に感じていない。</p> <p>地域に根ざした文化の創造及び振興の拠点となる文化会館の座席数を、現在と同規模にするべきではないか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
兼井（天空おのの）	一括質問・答弁方式	<p><b>8 結婚・子育て支援について</b></p> <p>○ これまでの結婚・子育て支援の取り組みから、さまざまな情報が得られたと思うが、どのようなニーズがあったのか。そのニーズの分析結果と今後の取り組みについて、どう考えているか。</p> <p>特に、子どもを持ちやすくなると思われる環境について、どのように考えているのか。子育て支援で、何が最も重要と感じているのか。</p>
		<p><b>9 集落機能の維持と活性化の支援について</b></p> <p>○ 人と人のつながりにより支えられてきた集落単位での活動が、地域の活力、大野市の活力を維持してきたが、人口減少社会の中で高齢化率が33%を超え、以前のような人と人とのつながりを維持することが困難になり、集落機能の低下が危惧されている。</p> <p>集落への支援や地域外からの新たな担い手の誘致など、時代にあった集落コミュニティの支援について、どのように考えているか。</p>
		<p><b>10 若い人たちの柔軟な発想の取り入れについて</b></p> <p>○ 全国の高校生・大学生から大野市に対する観光提案を募集する「観光プロデュースコンテスト開催事業1,993千円」や、市内の中高生を対象に思い描くまちの将来に関するアイデアや夢を募集する「わたしが未来の市長提案事業312千円」により、若い方々の柔軟な発想を受け入れるためには、受け入れる側の柔軟性が必要と考えるが、どのような仕組みを考えているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
島 口（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 平成 29 年度の基本姿勢と重点施策について</b></p> <p>○ 2期と3年近くなる岡田市長の市政運営の評価と、平成 29 年度の市政運営にあたっての市長の基本姿勢、特に重点的に取り組もうとされている施策は、いかがなものか。</p>
		<p><b>2 水への恩返し、キャリングウォータープロジェクトについて</b></p> <p>○ 水への恩返しキャリングウォータープロジェクトの平成 29 年度の取り組みを、一般財団法人水への恩返し財団の役割と合わせてお尋ねする。</p>
		<p><b>3 観光振興について</b></p> <p>○ 平成 28 年度に策定する観光戦略ビジョンに沿った新年度の観光振興の取り組みはいかがなものか。</p>
		<p><b>4 重点道の駅「(仮称)結の故郷」について</b></p> <p>○ 平成 32 年度に供用開始を目指す重点道の駅「(仮称)結の故郷」に岡田市長は、どのようなことを期待されているのかお尋ねする。</p>
		<p><b>5 農業行政について</b></p> <p>○ 平成 30 年度からのいわゆる米の生産調整の廃止が予定される中、新年度は、どのように「持続可能な越前おおの型農業」の推進を図るお考えなのかお尋ねする。</p>
		<p><b>6 小中学校学校再編について</b></p> <p>○ 新年度予算案に基本構想策定に係る経費が計上されているが、小学校、中学校それぞれの新築に至るまでの日程と再編推進協議会の協議日程についてのお考えをお尋ねする。</p>
		<p><b>7 組織機構の強化・見直しについて</b></p> <p>○ 本市の地方創生・人口減少対策のさらなる加速、企業誘致の積極的な推進等のための組織機構の強化・見直しについての所見は、いかがなものか。</p>

一般質問

3月6日（月） 午後

質問者	質問方式	質問概要
<p style="text-align: center;">廣 田 （清風会）</p>	<p>一問一答方式</p>	<p><b>1 大野市子ども・子育て支援事業について</b></p> <p>○ 大野市子ども・子育て支援事業計画について、平成 27 年 3 月策定後の状況について知りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育サービス等の、利用者数の推移や課題について</li> <li>・認定こども園への移行状況について</li> <li>・子育て支援策の状況について</li> </ul>
		<p><b>2 人口減少対策における若者に関連した事業について</b></p> <p>○ 平成 29 年度予算において、若者に関連した事業が多く見受けられるが、下記事業について、事業内容の詳細を知りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源再発見事業について</li> <li>・地域おこし協力隊事業における募集上の内容と応募状況について</li> <li>・観光プロデュースコンテスト開催事業について</li> <li>・わたしが未来の市長提案事業について</li> </ul>
		<p><b>3 観光による地方創生の取り組みについて</b></p> <p>○ 提案理由説明で、観光を雇用創出や所得向上等の経済的メリットにつなげるとあるが、下記詳細を知りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ルートや観光スポットの広域化・多様化について</li> <li>・日本版DMOとは、また設置を検討しているとあるが、事業化されているのか聞きたい。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">松田（天空おの）</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">一問一答方式</p>	<p><b>1 大野市小中学校再編計画について</b></p> <p>平成 27 年 2 月に小中学校再編計画（素案）が出されて現在に至るまで、ほとんどの説明会場や教育委員会、そして総合教育会議に出席し、市民の皆さんのご意見と理事者の回答を聞いてきた。</p> <p>しかし、今日に至るまで、市民としっかり向き合って話し合われたとはとても言えない、将来不安が増していく状況である。</p> <p>市民生活に密接に関係してくる事柄であるにも関わらず、市長部局の参画が見られないことは、誠に残念である。</p> <p>何とか市民と真摯（しんし）に向き合い、未来の大野市にふさわしい夢のある学校配置を、共に考えることを切に望みつつ質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成 28 年度大野市一般会計補正予算の歳出、教育費（項）小学校費（目）学校管理費の中で、学校施設等整備基金積立金として 5,000 万円を計上しているが、どのように使われるのか。また、5,000 万円は、どこから捻出したのか。</li> <li>○ 「大野の未来を考える会」が 3,000 人余りの署名を添えて岡田市長宛てに出された陳情書の答申が郵送された点について、どのように考えているのか。</li> <li>○ パブリックコメントに対し、市民等から 260 余りの多くの意見が出されたが、このことをどのように捉えているか。</li> <li>○ 市長は、その回答を読まれて、どのように思われたか。</li> <li>○ 継続審査 2 件のほかに、7 件の請願・陳情が出されていることについて、どのようにお考えか。</li> <li>○ 人口ビジョンと総合戦略の中で、人口減少問題が最重要課題であると、今副市長を配置されたが、学校がなくなることによる人口減少について、どのように捉えているか。</li> <li>○ 小学校は、地域別優先に十分に議論して、住民理解の下に考え直すことに修正ができないのか。</li> </ul>
		<p><b>2 大野市公共施設等総合管理計画案について</b></p> <p>3 月中にまとめられる総合管理計画案は、国の政策でもあり、今後も市民に対するサービスを継続しながら、全体の施設のコストを平準化して、財政の厳しい中で乗り切ろうとするものであると認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ まずは、小中学校 3 校新築計画は、大野市の総合管理計画の方針や、国の「新しく造る」から「賢く使う」とする基本方針に反することになると思うが、どのように考えているか。</li> <li>○ （案）では、大野市の財政の現状を厳しいと捉えているが、どのように厳しいのか。また公共施設の修繕費等に必要な財源を、どのように確保していくのか。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
堀田（無会派）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 地方創生について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「人口ビジョン」と「総合戦略」の特徴は。</li> <li>○ 2年間経過した現在、他の自治体にはない強みは。</li> <li>○ その強みを、できるだけ多く見つけ出すためのやり方は。</li> <li>○ 市長の地方創生、人口減少対策の、後半への意気込みは。また、効果がいつごろから出てくると、お考えなのか。</li> </ul>
		<p><b>2 小中学校再編計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10年以上を見据えた中長期的な計画が望ましいとされているが、今回の計画期間について見解は。</li> <li>○ 文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定の手引と解説」では、コンクリート及び鉄筋の強度が確保された場合には、70年から80年程度とされているが、市内の小中学校耐用年数の設定は。</li> <li>○ 「学校施設の老朽化状況の点検と実態」における構造躯体（くたい）の健全性の評価点検等の実施は。</li> <li>○ 社人研の想定どおりになるのなら、計画にある学校の規模と建設時期は早計では。</li> </ul>

一般質問

3月7日（火） 午後

質問者	質問方式	質問概要
高田（天空おおの）	一問一答方式	<p><b>1 高齢化社会におけるインフラについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢化社会における社会インフラ整備を、どのようにお考えかお尋ねする。</li> <li>○ 高齢化社会における経済インフラを、どのようにお考えかお尋ねする。</li> <li>○ 具体的にどのように講じられているか、また講じられていく予定かお尋ねする。</li> </ul>
		<p><b>2 今季の除排雪について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 除排雪車の出動までの判断と流れをお尋ねする。</li> <li>○ 降雪期の職員の対応についてお尋ねする。</li> </ul>
		<p><b>3 ふるさと納税について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふるさと納税に対する本市のお考えをお尋ねする。</li> </ul>
		梅林（天空おおの）
<p><b>2 健全な水循環の回復と利用について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健全な水循環を構築していく上で、「水への恩返しキャリングウォータープロジェクト」や、小学生への「副読本」による水の学習を通して培う誇りを、具体的な市民の行動として何を望み、どのように取り組むのか。</li> <li>○ 水田の涵養（かんよう）能力を最大限に確保する取り組みは。</li> <li>○ 森林の持つ多面的機能の一つである地下水涵養を、より効果的にするため、どのように取り組んでいくのか。</li> <li>○ 飲料水・生活用水の水質保全と、災害時等緊急時の対応は。</li> </ul>		
<p><b>3 防火対策について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 糸魚川市の大規模火災や越前市の火災の教訓を生かし、市民の生命と財産を守るため、さらなる防火対策強化に取り組んでいくのか。</li> </ul>		

質問者	質問方式	質問概要
<p><b>榮</b> （日本共産党大野市議団）</p>	<p>一問一答方式</p>	<p><b>1 積立金・基金について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校施設等整備基金について</li> <li>○ キャリングウォーター事業と地域振興基金との関係について</li> </ul> <p><b>2 公共施設最適化事業債について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共施設最適化事業債の起債条件はどのようなものか。</li> <li>○ 小中学校再編計画に基づく小中学校の整備に適用させるのか。</li> </ul> <p><b>3 小中学校生の医療費完全無料化について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 隣の市町では、今年度予算において、中学校卒業までの生徒に係る医療費の完全無料化が実現すると聞かすが、大野市当局はどう考えているか。</li> </ul>
<p><b>野村</b> （日本共産党大野市議団）</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p><b>1 大野市小中学校再編計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中学校の再編を着実に進めることを求める陳情についてを採択したことは、強引な議会運営に基づいた採決結果であり、議長は採決に加われないことでの議会意思であるという現状を、理事者はどのように捉えているのか。</li> <li>○ 小中学校再編計画（案）に反対の意見は無視してきたという認識はあるのか。</li> <li>○ 説明会での住民の声・パブリックコメントの意見はどのように反映されたのか。</li> </ul> <p><b>2 就学援助・入学準備金・小中学校給食費無料化について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準要保護世帯の入学準備金を入学前に支給することについて、その後の進展はどうか。</li> <li>○ 準要保護世帯の中で入学準備金を受け取る対象者は、何人いるのか。</li> <li>○ 増額も必要だが、支給時期を入学前に変更することに関しては、予算が要るわけではないので、他の自治体を調査するまでもなく、行ってはどうか。</li> <li>○ 給食費に何らかの助成を行う考えはあるのか。</li> <li>○ 義務教育の給食は、無料にするべきではないか。</li> </ul> <p><b>3 子どもの医療費窓口無料化について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの医療費窓口無料化の今の状況は。</li> <li>○ 一部自己負担を無くして、完全無料にするべきではないのか。</li> <li>○ 高校卒業まで無料にするべきではないか。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
砂子（新生おのの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 繰越明許費について</b></p> <p>○ 議案第10号 平成28年度大野市一般会計補正予算(第5号)案の第2表には、繰越明許費が列挙されているが、事業数、繰越額ともに非常に多いと感じる。</p> <p>国庫補助や事業執行状況による、やむを得ない繰り越しも考えられるが、多くなっている理由を問う。</p> <p>○ 臨時福祉給付金等支給事業は、約1億円が繰り越されるが、臨時福祉交付金は消費税引き上げに対する影響緩和が目的であることから、繰越額が多額になることは考えられないが、繰り越しの理由は何かを問う。</p>
		<p><b>2 ゼロ市債の実施について</b></p> <p>○ 複数年にわたる事業の際には、契約締結により翌年度に債務負担行為を行っているが、新年度に行う工事等に対して、あらかじめ債務負担行為を設定し、現年度中に入札を行って契約を締結し、新年度当初からの着工を可能にする「ゼロ市債」を大幅に導入する考えはないかどうかを問う。</p> <p>○ 市長は常々、工事施工の前倒しによる景気対策を行われているが、国が行う、いわゆるゼロ国を市の単独事業等にも導入することで、新年度当初からの工事施工により、公共事業の閑散期といわれる4月～6月期の施工数を増やし、年間を通じての平準化を図るとともに、事業の早期完了、景気浮揚を図ることができると思うが、市長の考えを問う。</p>
		<p><b>3 除雪の現体制と将来展望について</b></p> <p>○ 除雪業務を委託している業者数を問う。</p> <p>○ 除雪オペレーターの人数を問う。</p> <p>○ 昨今も、ヤマト運輸のドライバー不足が新聞に掲載されていたが、除雪業務においても、除雪を委託している業者については人材不足が深刻になっているのではないかと考える。</p> <p>業者不足、オペレーター不足に対する対策を問う。</p>